

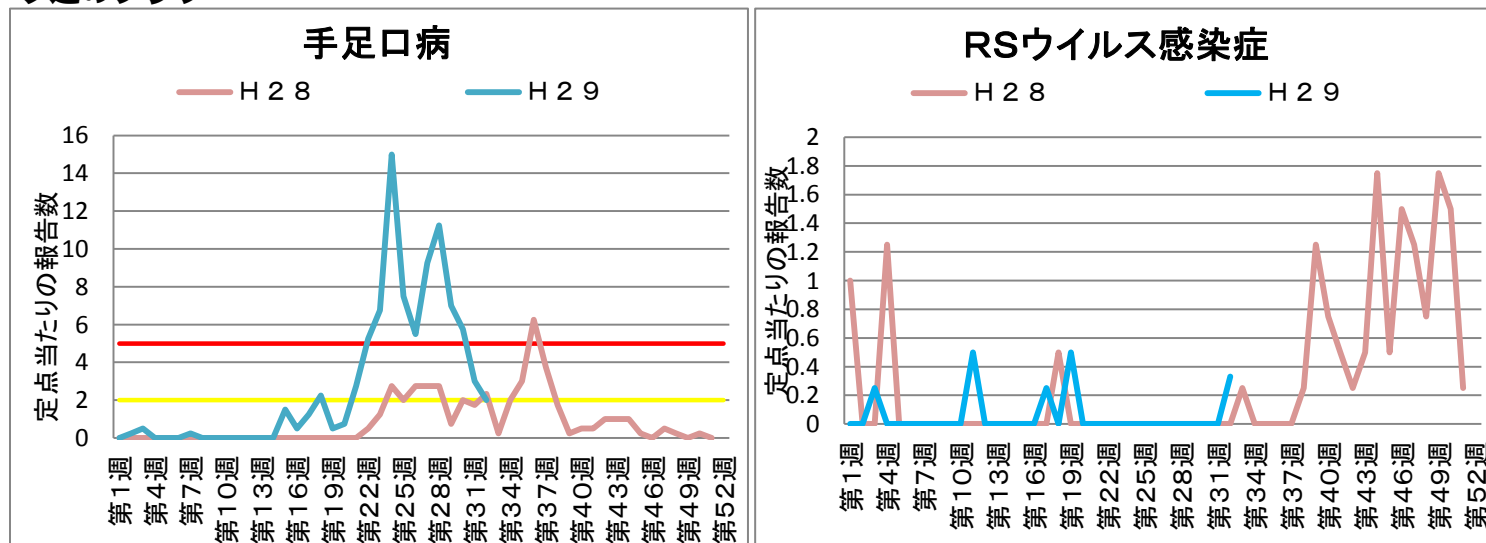
乙訓保健所管内の感染症発生動向調査による週報 (小児科定点、インフルエンザ定点)

第 32 週 平成29年8月7日 ~ 平成29年8月13日

今週のコメント

○ 手足口病の報告は4週連続で低下し、定点あたり2.0となりました。
○ 全国的にRSウイルス感染症が増加しています。第31週の時点で報告数は4,934人で、昨年の同時期1,082の5倍近くとなっています。RSウイルス感染症というと冬に流行するイメージがありますが、乙訓地域でも報告がありました。年長児や成人はRSウイルスに感染しても感冒様症状のみのことが多いのですが、0歳児と1歳児はRSウイルスに感染すると肺炎などを合併して重症化することがあります。感染経路は、飛沫感染と接触感染です。重症化しやすい0～1歳児を守るために、咳などの呼吸器症状のある年長児や大人はマスクを着用し、0～1歳児との接触を避けましょう。0歳児と1歳児は、発熱や咳症状があれば、早めにかかりつけ医を受診しましょう。

今週のグラフ



* — 流行警報基準値です — 警報継続基準値です

今週の報告状況

疾病名	定点当たりの報告数	疾病名	定点当たりの報告数
インフルエンザ	0.2	手足口病	2
RSウイルス感染症	0.33	伝染性紅斑	-
咽頭結膜熱	-	突発性発しん	1
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.67	百日咳	-
感染性胃腸炎	3.67	ヘルパンギーナ	0.33
水痘	0.33	流行性耳下腺炎	-

定点当たりの報告数 = 1週間の報告件数総数 / 定点数

* 乙訓管内 インフルエンザ定点数：7箇所、小児科定点数（インフルエンザ以外の疾病）：4箇所

参考資料等

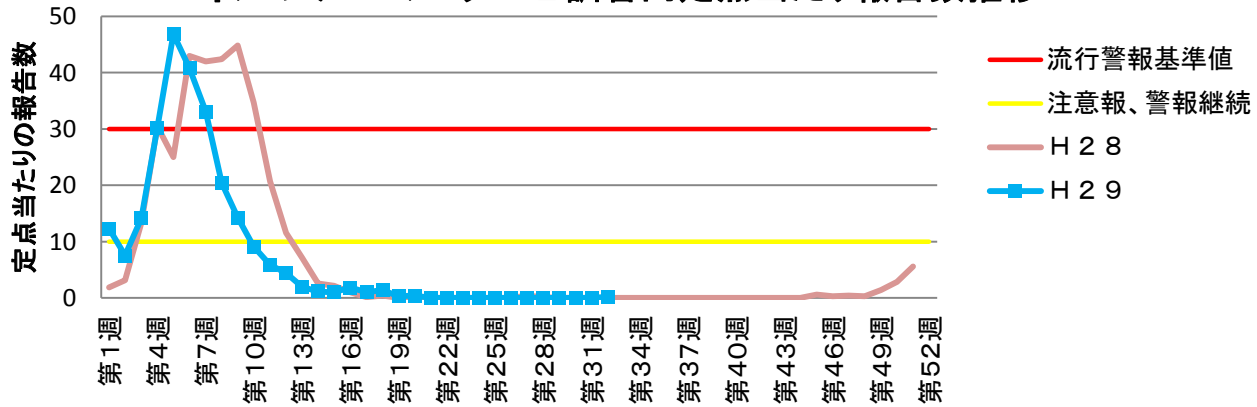
報告週対応表

警報・注意報基準値の説明

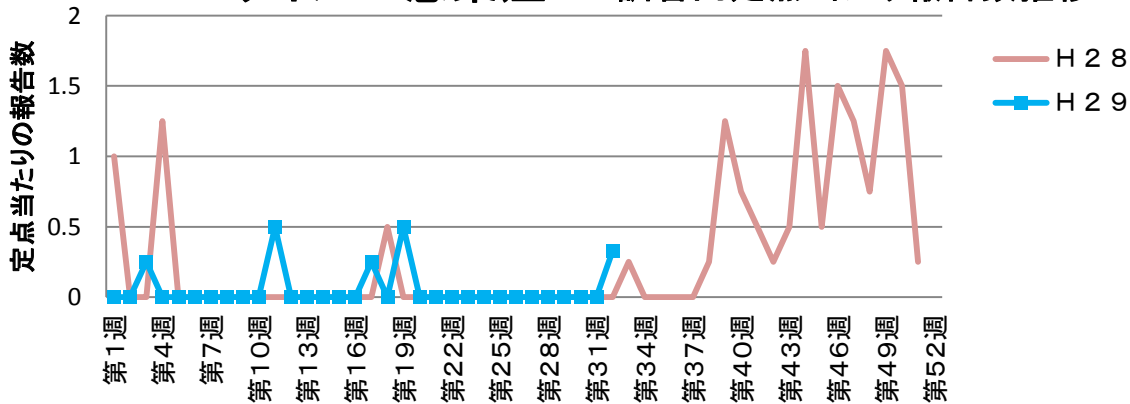
<http://www.nih.go.jp/niid/ja/calendar.html>

<http://idsc.nih.go.jp/disease/influenza/inf-keiho/guide03.html>

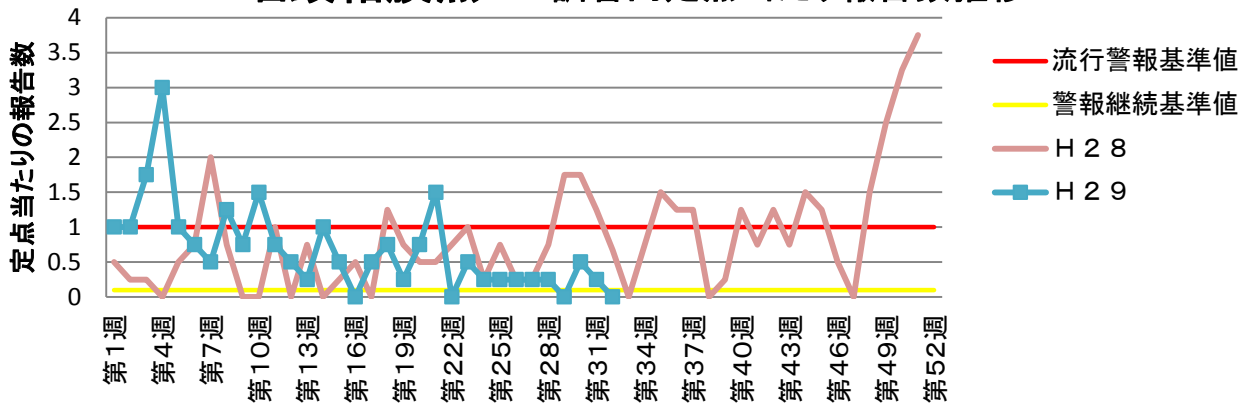
インフルエンザ 乙訓管内定点当たり報告数推移



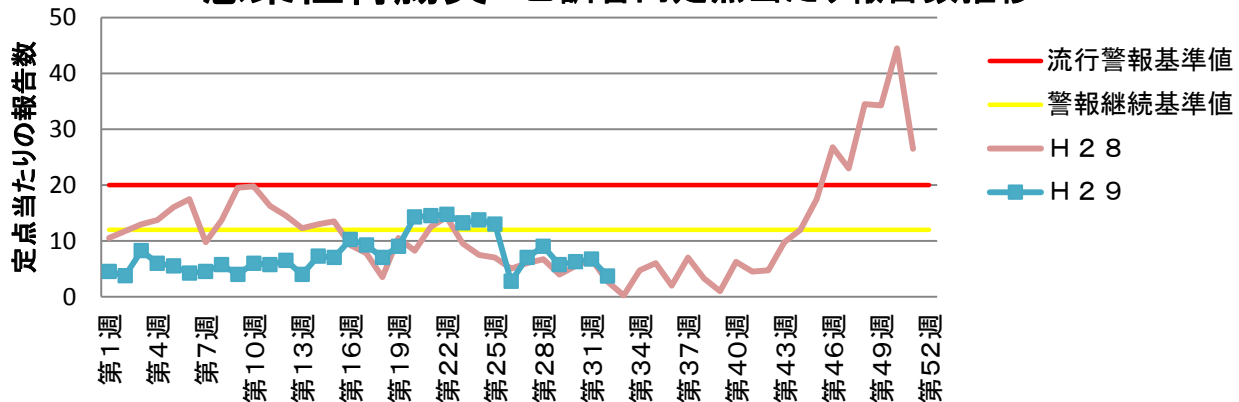
RSウイルス感染症 乙訓管内定点当たり報告数推移



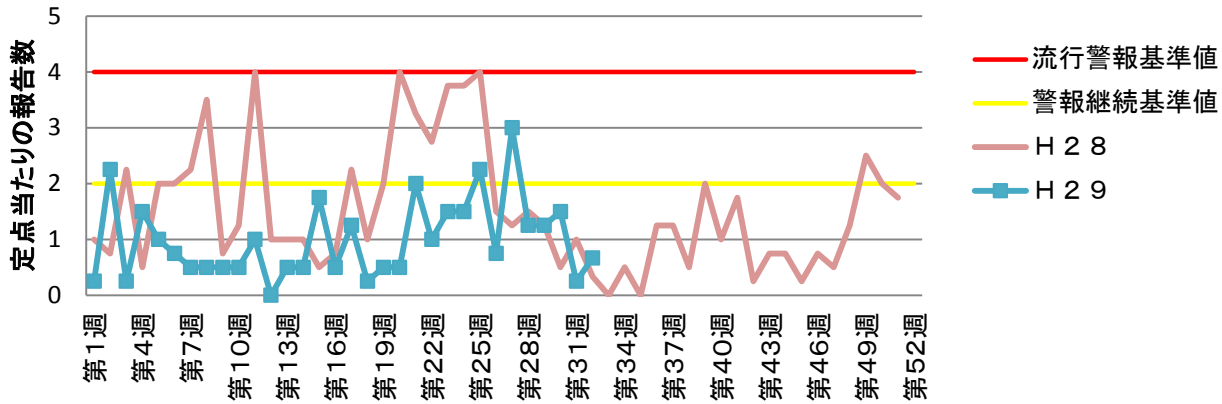
咽頭結膜熱 乙訓管内定点当たり報告数推移



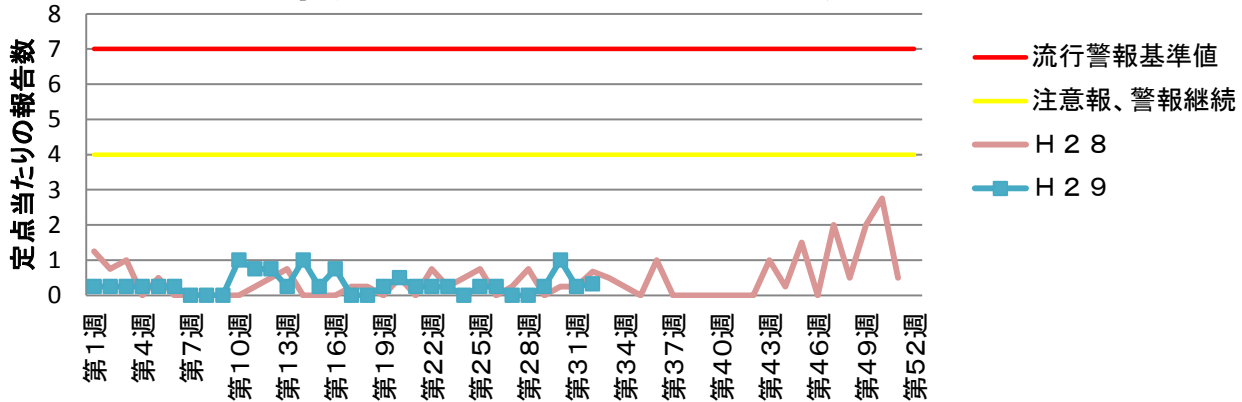
感染性胃腸炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



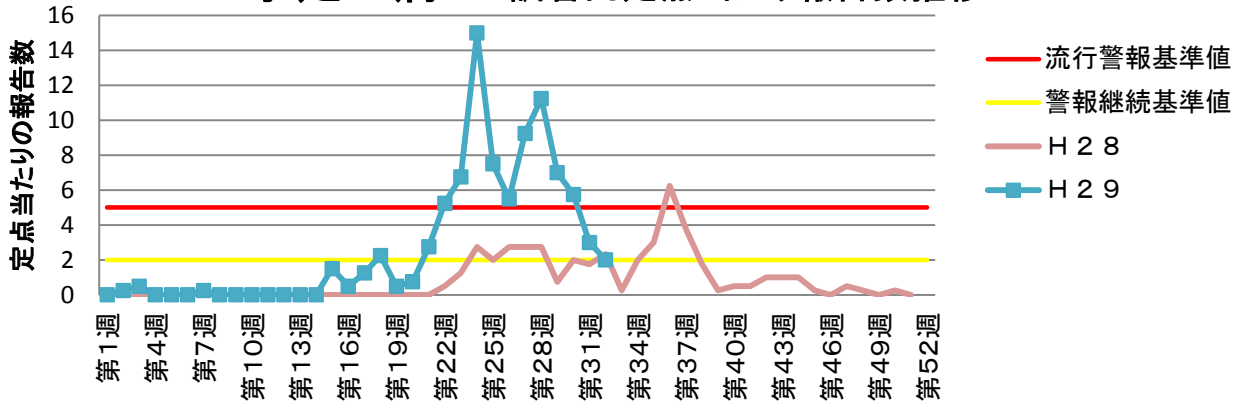
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



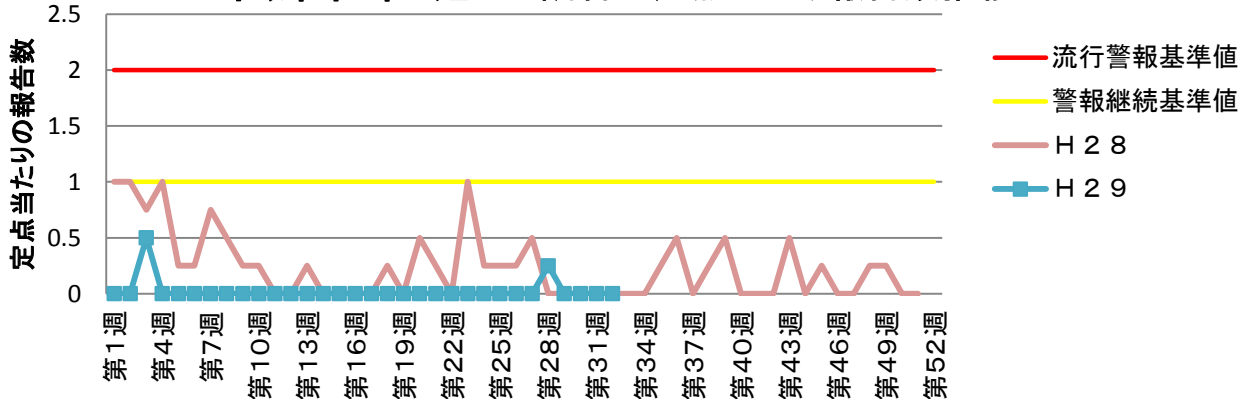
水痘 乙訓管内定点当たり報告数推移



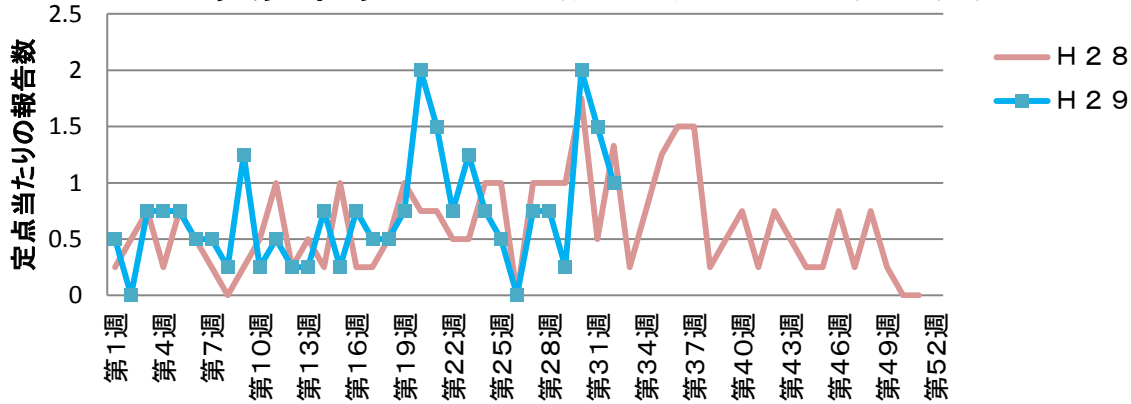
手足口病 乙訓管内定点当たり報告数推移



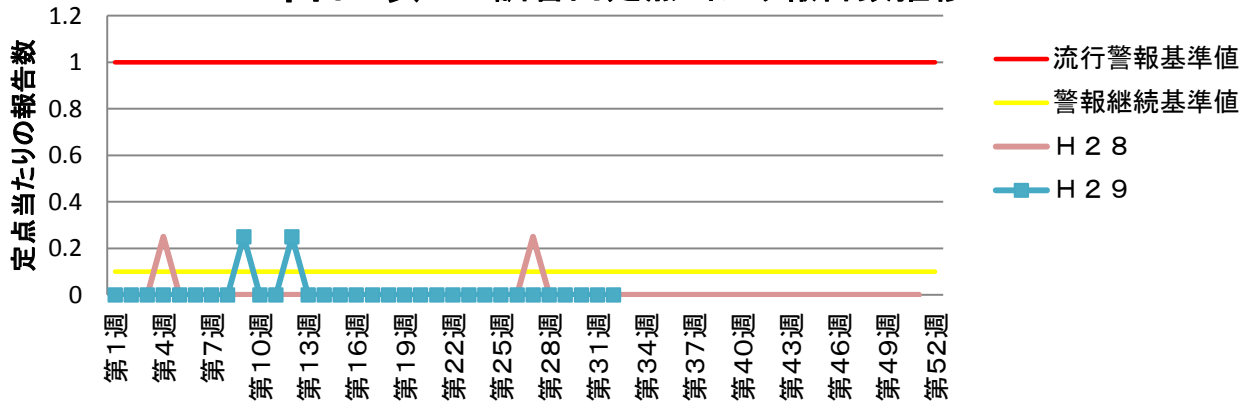
伝染性紅斑 乙訓管内定点当たり報告数推移



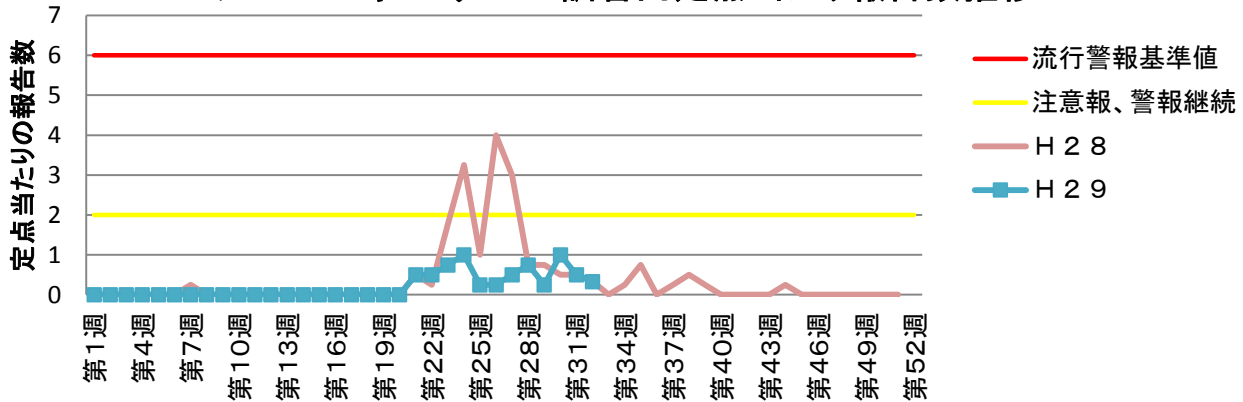
突発性発しん 乙訓管内定点当たり報告数推移



百日咳 乙訓管内定点当たり報告数推移



ヘルパンギーナ 乙訓管内定点当たり報告数推移



流行性耳下腺炎 乙訓管内定点当たり報告数推移

